

総務政策委員会記録

開会年月日	平成 29 年 8 月 23 日
開会時刻	午前 9 時 59 分
閉会時刻	午前 10 時 36 分
出席委員名	◎西山 則夫 ○野口 佳子 鈴木 豊司 野崎 隆太
	福井 輝夫 辻 孝記 黒木騎代春 工村 一三
	世古口新吾
	浜口 和久 議長
欠席委員名	—
署名者	鈴木 豊司 野崎 隆太
担当書記	山口 徹
審査案件	継続調査案件 所管事業の平成 29 年度 進捗状況及び予算の執行状況等の調査について
説明員	情報戦略局長、情報戦略局参事、財政課長
	環境生活部長、環境生活部参事、市民交流課長、市民交流課副参事
	危機管理部長、防災施設整備課長、危機管理課長
	その他関係参与

審査経過

西山委員長が開会を宣言し、会議録署名者に鈴木委員、野崎委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、継続調査案件となっている「所管事業の平成 29 年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」の報告を受け、審査終了後、本案件の調査を終了し、委員会を閉会した。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午前9時59分

◎西山則夫委員長

ただいまから、総務政策委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者 2 名は委員長において、鈴木委員、野崎委員の御両名を指名いたします。

本日の案件は、継続調査となっております「所管事業の平成29年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」であります。

議事の進め方については、委員長に御一任願いたいと思いますが御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫委員長

ご異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

それでは、「所管事業の平成29年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」の御審査を願います。当局の報告をお願いいたします。

財政課長。

●大西財政課長

それでは、平成29年度予算執行状況調査について、お手元の資料、所管事業の平成29年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査資料に基づき御説明申し上げます。

このたび報告します予算の執行状況等は、各常任委員会から所管事務調査の対象事業等を中心に、御指示のあった施策事業について調書を作成し、報告するものでございます。

お手元の資料については、17事業の進捗状況をお示ししております。

総務政策委員会所管分の執行状況については、1 ページから 5 ページに掲載の 5 事業が該当します。

1 ページをお開きください。まず、様式について御説明いたします。上段から、「事業目的」の欄には、予算説明資料でお示ししました概要を、「事業内容」の欄には、当初予算編成時に想定した内容・計画等を、「進捗状況」の欄には、特に断りがないものについては、本年 7 月 31 日時点における予算執行上の現状を、「事業を取り巻く状況等」の欄には、予算編成時点と予算執行時点との変更点等、差異が生じている理由や、事業執行に伴い生じた課題・問題点などを記し、現状の分析を行っております。

また、下段の事業費欄に現計予算額等を記してございますが、執行済額は 6 月末時点での支出負担行為済額を記しております。

それでは、各事業の概略について、ご説明いたします。

1 ページをお願いします。「ふるさと応援寄附推進事業」です。

本件については、伊勢市ふるさと応援寄附金制度を活用し、寄附の獲得を目指すものです。

執行状況としましては、6月末時点の寄附額として、100万円以上の大口寄附を除き、149件270万3,372円、前年の同時期と比べ59件88万3,372円の増となっております。

また、ふるさと応援寄附金の管理システムを導入し業務の効率化を図りました。

返礼品の高額化等が全国的に問題視されており、本市でもふるさと納税の本来の趣旨を踏まえ、見直しを進めているところでございます。

次に、2 ページをお願いします。「出会い・結婚支援事業」です。

本件については、いせ出会い支援センターを拠点として、結婚に向けた相談、出会いの場の情報提供、セミナーの開催等を行うものです。

執行状況としましては、いせ出会い支援センターの運営委託を行い6月末時点で753人の方に利用をいただいています。また、企業の従業員の結婚に向けた支援として、「いせむすび」を開始し、6月末時点で41社の登録をいただきました。

社会全体で、結婚・子育てを支援していく気運の醸成を図るため、結婚支援だけではなく、ワーク・ライフ・バランスの推進も働きかけたいと考えております。

次に3 ページをお願いします。「公共施設マネジメント事業」です。

本件については、公共施設等の総合的、かつ計画的な管理を行い、財政負担の軽減、平準化とともに、最適な配置を行おうとするものです。

執行状況としましては、公共施設等マネジメント推進会議、施設類型別計画検討委員会の開催のほか、地域審議会、総連合自治会、まちづくり協議会と意見交換会を行いました。

今後は、議会及び意見交換会での意見をもとに、施設類型別計画の策定を進めてまいります。

次に4 ページをお願いします。「防犯灯LED化推進事業」です。

本件については、市や自治会が所有している防犯灯を、経済面・環境面等で優れたLED防犯灯への取替えを推進するものです。

執行状況としましては、市所有の防犯灯については、本年度中に全ての防犯灯のLED化を行います。なお、自治会所有の防犯灯は、本年6月末時点で約55%のLED化が図られました。

自治会所有の防犯灯については、平成33年度までに、全ての防犯灯のLED化を目指していることから、計画的な取替えを促してまいります。

次に5 ページをお願いします。「地域防災力向上支援事業」です。

本件については、市民一人一人が災害に備える「自助」、及び地域で災害に備える「共助」への取組に対する支援を行い、防災意識の向上と、災害に負けないまちづくりを目指すものです。

執行状況としましては、自治会や自主防災組織等を対象とした、講習、訓練を行ったほか、地域防災マップの作成を進めています。また、8月1日から、高齢者世帯等を対象に、無料の家具固定の募集を行っております。

これまで、地域における防災講習会等は、地震から命を守ることを中心に開催してきましたが、国が宮川、勢田川の洪水浸水想定区域図を公表したことから、洪水時における避難等についても啓発を進めたいと考えております。

以上、総務政策委員会所管事業の平成29年度進捗状況、及び予算の執行状況等について、概略を御報告申し上げます。よろしくお願ひ申し上げます。

◎西山則夫委員長

ただいまの報告に対しまして、御発言はありませんか。一括でやります。
福井委員。

○福井輝夫委員

まずこの出会い結婚支援事業についてお聞きしたいと思います。今伊勢市では、結婚、それから出会いということで力を入れていただいているのは、みなさん周知のとおりでございます。

その中で、今回の予算現額1,562万5千円、今執行済み額が1,343万2千円と、かなり86%も執行しとるという状態でございますが、まだ、3ヶ月しか経ってない状態の中で、まだ残された期日はかなりある。その中で、まだやってない項目もあると、婚活イベントの開催も予定二回あるけども、まだ開催日未定となっております。

そのような中でですね、どういう執行状況で今後取り組むのかその辺について、計画をお示しく下さい。

◎西山則夫委員長

市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事

予算の執行状況でございますけれども、執行済額のうち約800万が、いせ出会い支援センターの運営委託に係る経費でございます。

また、約350万というところが、企業の結婚支援促進事業ということで、同じく出会い支援センターの運営を委託しております「デルタスタジオ」様と、委託契約を結んでおまして、これが負担行為で縛っておりますので、既に執行したということになってますけれども、この事業費の範囲内で、またこれから事業を進めていく予定でございます。

◎西山則夫委員長

福井委員。

○福井輝夫委員

了解しました。ということは残る費用でほかの部分までこれからやっていけるということでございますね。それについては良いんですが、それですね今、平成28年度の利用状況3,088人、それから相談対応件数201件ということですね。

現在の3ヶ月間の間での利用状況753人、これでいくと4倍掛けたら約3千12人という

ことになりますので、進捗としては同じくらいのペースなのかなと、ただ相談件数がですね35件ということは4倍すると140人、28年度201人に対して140人ということで、相談件数が少し少ないような気がしますけど、その辺の何か分析がありますでしょうか。

◎西山則夫委員長

市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事

今御指摘いただいた利用件数でございますけれども、全体の利用件数といたしましては、昨年度と比べまして、開設日で勘案しますと昨年平均が一日当たり15件、今年度3ヶ月で一日当たり14件というふうなことでございます。

細かく見ていきますと、実際に相談室に入っていたいただいた方の割合、35件ということで少ないような感じがするんですけども、チラシをお持ち帰りいただいたというふうな方もご利用者の中に含めさせていただいてまして、相対的に見ますと率としてはそんなに変わらないのかなというふうに考えております。

◎西山則夫委員長

福井委員。

○福井輝夫委員

わかりました。そのようなことで、なお一層の広報をお願いしたいと思います。

それですね、私常々ちょっと気になっておるのは、利用者とかそういう部分ですね、人数はよくわかるんですが、その効果ですね、当事業による効果が現れ難いというようなことが思っております。その中で、この事業を通じて結婚した方の人数とかですね、それからそういう結婚したいという報告ですね、そういうのがあれば本当は一番よくわかるんですけど、それがなかなか出難いということで、他市の場合を見てみますと例えば当事業を通じて結婚した場合、例えば知事からお祝いの色紙が配られるとか、いろんなことを取り組んでおるところがあるかと思っております。

そういう中で、例えば伊勢市の場合ですね、そういう報告があった場合何か、こういうものが記念になるなというふうなものもらえるというようなことになれば、多少また違うんじゃないかと思っておりますけど、何かそのようなこと取組、何か考えていることはないでしょうか。

◎西山則夫委員長

市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事

現在、昨年度一件、それから今年度に入りまして5月に結婚の御報告をいただいております。御報告をいただい方というのは、センターのイベントを通じてカップルになってご成婚に至ったという方の御報告なんですけど、その方に対しては、市長の方からメッ

セージカードとそれからセンターの方からフォトフレームを合わせて送らせていただいております。

◎西山則夫委員長
福井委員。

○福井輝夫委員

ありがとうございます。それは、結果として結婚して市長の方からメッセージカードがいったということなんですけど、いろんな相談していく中でですね、それからそういうチラシの中にですね、報告していただいたらこういうことありますよと、というような何かそういうアピール等はしていないでしょうか。

◎西山則夫委員長
市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事

イベントでできたカップルの方には、終了後にセンタースタッフの方からその後の状況を聞き取るようにしていただいております。

また、めでたく結婚となった場合は、お知らせしていただきたいというふうなお話をさせていただく中で、そのようなこともお話をさせていただくとるかと思っております。

◎西山則夫委員長
福井委員。

○福井輝夫委員

その辺をですね、やはり気がつかなかったら報告という部分についてもあんまり現れてないかと思っておりますので、その辺についても強調していただければと思うんですけども検討をお願いしたい。

それからいろんな出会いをする中で、短時間の間にですねカップルになるかというのはなかなか難しいと思っております。ちょっとした時間の間に自分がなかなかアピールできないとか、そういうこともあろうかと思っておりますので、例えば出会い事業の中にですね、例えば料理教室というようなものを開くとしますね。そうすると男女が一緒になって料理をすると一つの時間帯、長い間そういう話し合う機会もできる。そうなってくるとお互いの魅力等を見出せるというようなこともあろうかと思っておりますので、そういう仕組みもですね、今まだないかと思っておりますけど幅広く考えていただければありがたいと思っておりますので、そういうふうな点について何か、今の方法以外にですね、こういうことも取り組んで行きたいというような何かあれば、教えてください。

◎西山則夫委員長
市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事

先ほどいただきました御意見については、またセンターのスタッフの方に伝えさせていただきたいと思っております。資料の方にも記載させていただいたんですが、若い女性の方の利用を増やしたいということで、今年度から「なでしこスクール」というものを開催しております、独身女性の方の自分磨き講座ということで、少人数の方を対象にはありますが、今年度、今までで2回開催させていただいておるところでございます。

また年齢が高い方向けの出会い系イベントについては、応援団体の方へ働きかけをしていくようにセンターのスタッフの方で考えていただいております。

◎西山則夫委員長

福井委員。

○福井輝夫委員

最後にします。この結婚支援事業、出会い支援事業ですね、こういうのは地方自治体の半分以上がいろいろ取り組んでおるといようなことも聞いております。

そういう場合にですね、それぞれの地方自治体だけが取り組むんじゃなくて国としてもですね、やはり大きなこういう日本の全体の流れの中でですね、取り組んでいただきたいなという気持ちが多くあります。そういう中で国への取組の働きかけというか、そういうのは今全然していないんでしょうか。その辺について、現状教えてください。

◎西山則夫委員長

環境生活部参事。

●藤本環境生活部参事

国の方につきましてはですね、定住自立圏という構想の中で私どもの部分も入れさせていただきまして、男女の結婚支援、出会い支援という部分を一緒のように入れさせていただいて、そちらの方のお金も使わせていただいております。

◎西山則夫委員長

福井委員。

○福井輝夫委員

わかりました。そういう部分でですね、何かの機会ある毎にですね、やはり少子化対策等で国もいろいろ頭を悩ましていると思いますので、こういう出会い結婚支援事業についての国のいろんな働きですね、補助金とかいろいろあるかと思いますが、そういう面について、何か今後とも力を入れていただきたいと思いますので、以上で終わります。

◎西山則夫委員長

他にご発言はございませんか。

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

公共施設のマネジメント事業の中でお聞かせいただきたいのですが、公共施設のカルテの問題でございます。この4月に公表もしていただいていた見せていただきましたが、大変な作業やったのかなというふうに思っておるわけでございますが、そのカルテの前段で集会施設というのが出てきました。その集会施設の中に稼働率というのがあがっておったんですが、その稼働率につきましてその算出方法ですね、具体的に説明していただけないでしょうか。

◎西山則夫委員長

情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

稼働率につきましては、貸し出しのコマ数の中でどのように使つとるかということになりますので、貸し出しが午前、午後、夜間というふうな捉え方をいたしますと、その日の中の稼働としましては3ということになります。それで開館日数をそれを掛けていきますので、全体数で貸し出せるコマというのが出てまいりますので、それを分母にしながらどのような利用をいただいたかというふうなコマの数を分子に置きまして、稼働率というふうにさせていただきます。

◎西山則夫委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

ありがとうございます。それとですね、同じ集会施設の中で稼働率が出てこない施設も結構見れたんですが、それはなぜ出してないんですか。

◎西山則夫委員長

情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

稼働率につきましては、当該課の方に確認を取りながらやつとる部分がございます、当該課の方の管理といいますか、集計の方ができていないところもございまして、その部分につきましては、出ていないところもあると思っております。

◎西山則夫委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

おそらくですね、公民館等が多いのかなあというふうに思うんですが、今回、カルテを見せていただきまして、また、公民館に関しまして疑問が沸いてきたんです。

公共施設といいながらですね、利用実態が明らかにされていない公民館等ですね、これは旧町村で公民館とか学習等供用施設とかいろんな呼び方があるんですが、今回のアンケートにもですね市が所有する公民館と、自治会が所有する公民館との間には不公平を感じるというアンケートがありましたですね。全くそのとおりかなというふうに思うんですが、以前にもこの部分話をさせてもらったんですが、修繕の関係につきましてはこの若干不公平をなくすような取組もされておるんですが、この公民館ですね、公共施設のマネジメントをしていく中で、総括する情報戦略局としてはですね、どのような認識でおられるのか、その辺お聞かせい願いたいのですが。

◎西山則夫委員長

情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

今、委員おっしゃっていただきましたとおり、公民館には設置の背景が縷々ございまして、公民館条例で建ったもの、あるいは学習等供用施設を根拠にしたもの等、いろんな背景がありまして建ててきたものがございます。そういったものは市が所有する施設ということになっておりますが、それは全て今、指定管理ということになります。

また各自治会さんの方で建てていただいております施設もございまして、公民館とは言いませんですけども、自治会の集会所という形になってまいります。自治会それぞれの地域におきましては、いろんな背景がある中で公民館、集会所といったような名前の建物が建てております。そちらにつきましては、意見交換の場でもいただきましたとおり自分と建ててきた地域の方々、それは不公平があるやろとおっしゃいますし、いろんな背景があつて建ててきたところがある地域につきましては、建ててきてもらったんやというところもあります。それらにつきましては公平な目線をもっていかないかんと思っておりますので、一定の公平な考え方で、これからは地域の皆さまの方にその集会所、公民館といった部分についての整理をさせていただきたいというふうに思っております。

◎西山則夫委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

ありがとうございます。当局もですね、不公平であるという認識をもっておられるということで理解させていただいたんですが、これまでもよく例えば無償譲渡する場合に、補助金のしごらみがあるというふうなことで、なかなか進まないというふうなお話もあったわけですが、今、全国で問題になっております加計学園、森友学園と比べましたら何でもないことだと思んですが、この際、国等に対しまして、補助金の縛りですね、規制緩和というんですか、その辺を働きかけていく気はないんでしょうか。

◎西山則夫委員長

情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

すみません。現段階で国へ働きかけるというレベルまではいっておりませんが、国の方からはこのような公共施設の老朽化問題に取り組むという部分から、ある程度の緩和措置というのが出てくると思っております。それと各課の皆さんと協議をする中で、補助金を返還することで公共施設のこれからの有効な管理ができるというような判断が取れる場合がありますら、その返還もせないかんと考えますし、あるいは手続き上、金額が残っておりますも許していただくような手続きを執るといふところも視野に入れながらですね、そういうふうなところも考えていながらその補助金で縛られとるといふふうなところにつきましても、それらにあまり拘らずといひますか、縛られ過ぎずにマネジメントを進めていきたいと思っております。

◎西山則夫委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

最後にもう一点ですね、今年度の末にですね施設類型別計画が出されるということなんですが、私自身それを見せてもらえるかどうかかわからないような状況なんですけど、年度末に示していただきますこの計画につきましては、その中身ですね、今示されております考え方のようなものなのか、それぞれ施設個々具体的にこの施設はこうする、この施設はどうするといふようなことの計画になるのか、その辺の方向性だけ教えてください。

◎西山則夫委員長

情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

今日お手元の方にお配りしてないんですが、6月の段階でお配りをいたしました考え方をまたご覧いただいと申しますけれども、そちらの17ページのところに今後の見直し区分として20通りの区分を作っております。1月にお示しをする案の中ではそれぞれの施設の方で20通りの区分を付けさせていただく形で、将来それぞれの施設については、このような考え方で見直しを考るといふところの具体的な方向性も含めた形での計画として出させていただこうと思っております。

◎西山則夫委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

それは個々の施設についてですね、それぞれそういう考え方出てくるということで理解させていただいてよろしいですか。

◎西山則夫委員長
情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

全てのものに付けさせていただきます。ただ、計画をする中で580から施設ございますけども、マネジメントを進めていくという観点からは外すべきものっていうものもあるかと思っております。お金がかかるから、ああだこうだという部分ではなく、市の方向性を考えると、少しそれは外しておくべきだという部分につきましては、少し除外もさせていただきますけども、基本としましては全ての施設につきまして、方向性を示させていただきますかと思っております。

◎西山則夫委員長
他にございませんか。
野崎委員。

○野崎隆太委員

簡単に結構なんで、出会い結婚支援事業の2番の企業の結婚支援促進事業のことで教えてください。この「いせむすび」の登録企業数41社なんですけど、この下に定住自立圏の事業主等に対してセミナーを行うというのが書いてあると思うんですけど、ここの登録企業の41社とはこれ定住自立圏の圏域内で41社って考えたらいいですか、それとも伊勢市内だけ対象と考えたらいいですか。

◎西山則夫委員長
市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事
定住自立圏内ということで、考えていただいたら結構です。

◎西山則夫委員長
野崎委員。

○野崎隆太委員

それでしたらもし数字があれば教えて欲しいんですけど、これ市外の企業ってどれくらいあるか、今手元にございますか。

◎西山則夫委員長
市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事
今全体の数字は持ち合わせておりません。申し訳ございません。今、伊勢市内から順次

御案内をさせていただいてまして、登録いただいたところ7月末現在で74社ということになっておるんですけど、伊勢市以外にも明和町などの企業さんにもご登録いただいております。

◎西山則夫委員長
野崎委員。

○野崎隆太委員

新しい数字を御披露いただいて、たいへんありがたいなと思うんですけど、ひとつ思うのはですね、このデルタスタジオさんにどれくらい委譲してお任せするかわからんですけど、ある程度行政間でその先の各市町の会社を紹介してもらおう動きであるとか、もしくは商工会議所を通じたりして、事前にある程度広く募ってもらってという方法もあると思うんですけど、その辺り具体的にもしお話をしていることがあれば、教えていただければと思うんですけど。

◎西山則夫委員長
市民交流課副参事。

●丸山市民交流課副参事

この仕組みにつきましては、4月に記者発表をしたのち新聞ですとか「広報いせ」で周知を行わせていただきました。また、伊勢商工会議所ですとか、商店街連合会等の会合の場で趣旨説明を行わせていただきまして、その後、企業様の方にリーフレットを郵送し、電話、訪問などを行わせていただいとるところでございます。

◎西山則夫委員長
野崎委員。

○野崎隆太委員

もう答弁は結構なんですけど、例えば定住自立圏という形で考えれば、ちょっとだけ広いので、例えばその先の商工会さんとか、その先の市町の方に説明会開きますもんでよかったらそちらでまとめて会社集めてくれませんか、というそういう動きがあると少し定住自立圏の外の範囲も回りやすいかなというところとあれですけど、1社1社回るとちょっと広過ぎですもんで、そのあたりもちょっと検討いただければなと思います。

もう結構です。

◎西山則夫委員長
他に、辻委員。

○辻孝記委員

地域防災力向上支援事業で、お聞きしたいと思います。

自主防災リーダー育成ということで、伊勢市防災大学の講習ということで書いてもらっているんですが、これ10月15日に行われるということで、先ほどの話なんですが、防災大学の考え方というのを少しお聞かせいただけますか。

◎西山則夫委員長
危機管理課長。

●日置危機管理課長

防災大学につきましては、市民の方が気軽にですね防災のことについて考えていただく。そして学んでいただく。このようなコンセプトを元に全7回でですね講義をさせていただく、そのような予定になってございます。そしてまたこの4回目の講義につきまして、このリーダー講習を合わせてさせていただくと、そのような予定になってございます。

◎西山則夫委員長
辻委員。

○辻孝記委員

わかりました。全7回でやっていくというお話ですが、市民全体ということで人数はどれくらい参加されておられるのでしょうか。

◎西山則夫委員長
危機管理課長。

●日置危機管理課長

現在、48名の方が講座を受けていただくと、そのような予定になってございます。

◎西山則夫委員長
辻委員。

○辻孝記委員

防災大学は、そういうことでわかりました。

次の防災コーディネーターの講習会について、伊勢市防災コーディネーターの設立をされたというお話ですが、これ対象は何人いて何人で結成されたのか、ちょっとお聞かせいただけますか。

◎西山則夫委員長
危機管理課長。

●日置危機管理課長

防災コーディネーターにつきましては、昨年度、防災士を伊勢市の方で養成させていた

だきまして、その方を中心に各地域で防災のリーダーになっていただく、そしてそのことを伝えていただくというふうなことを主眼としてですね募りまして、何かのグループということではなくて、コーディネーターという個人を募集させていただきまして、現在34名の方が登録をしていただいているという状況でございます。

◎西山則夫委員長
辻委員。

○辻孝記委員

防災コーディネーターの設立総会を行ったわけですので、現在34名しかいないということですが、伊勢の地域を考えますと34名が多いか少ないかという話になった時に、少ない気がいたしますが、その辺の考え方というのはこれからどうなってしまうのでしょうか。

◎西山則夫委員長
危機管理課長。

●日置危機管理課長

仰せのとおり34名が多いか少ないかというところは、非常に考えるところではあるんですが、まずですね、コーディネーターの方がどういうふうなところで、どういうふうな活躍をしていただくかというふうなことを、コーディネーターの中で運営委員さんを決めさせていただきまして、その方々の中で今後の運動、運営この辺についても考えていただくような方向で考えております。その中でもっと増やしていくという話になればですね、その方向性も合わせて考えていきたいと、そのように考えております。

◎西山則夫委員長
辻委員。

○辻孝記委員

わかりました。伊勢市の助成でなられた防災士の方々が34名おられるわけですが、そういった形でいきますと、現存する防災士の方々もありますので、そういった方々も対象にしながらですね、もっと広範な取組をとるという考え方ってあるのでしょうか。

◎西山則夫委員長
危機管理課長。

●日置危機管理課長

本年度、コーディネーターを募集させていただく際にですね、現在、防災士をとっていただいている方につきましても、お声かけをさせていただきました。その部分についても今後引き続きですね、お声かけをさせていただきたいと、そのように思っております。

◎西山則夫委員長

他に発言、黒木委員。

○黒木騎代春委員

地域防災力向上支援事業に関連して、御説明の中には直接関わりませんが、この間、大災害の時ですね、行政としての機能を間断なく発揮維持できるようにですね、業務継続計画策定ということが問題になっていると思うんですけど、伊勢市の場合これの状況というのはどのようになっているのでしょうか。

◎西山則夫委員長

危機管理課長。

●日置危機管理課長

現在ですね、防災の対応につきましては、対外的には地域防災計画というものがございまして、内部的にはBCPという業務継続計画というものを昨年策定させていただきました。そして計画につきましては、現在それをどうブラッシュアップしていくか、この辺を様々な会議等をさせていただきながらですね、現在進めているところでございます。

◎西山則夫委員長

他にご発言ございませんか。

情報戦略局参事。

●浦井情報戦略局参事

すみません、先ほど鈴木委員の方から稼働率のところでご質問いただきまして、手元の資料を出すのが遅れてお答えを間違えとったというか追加させていただきたい部分がございまして、カルテの稼働率が載っていない施設がいくつかございます。これにつきましては貸し室そのものがない施設がございまして、そういったのは貸し出すといった観点になりませんので、無記入となっております施設もございまして、その点ちょっと追加して報告させていただきます。

◎西山則夫委員長

よろしいですか。他にご発言もないようですので、報告に対しての質問を終わります。

続いて委員間の自由討議を行います。ご発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫委員長

ご発言もないようですので、自由討議を終わります。

本件につきましては、今回の報告を持って調査を終了するということでご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫委員長

御異議なしと認めます。

本件ついて、調査は終了いたします。

以上で、ご審査いただきます案件は終わりましたので、これをもちまして総務政策委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午前10時36分

上記署名する。

平成29年 8 月 23 日

委 員 長

委 員

委 員